

2/4~18

可児市高齢者大学

# 日ごろの成果を発表

2月4日から18日まで、可児市高齢者大学の各クラブによる発表会や、作品展が開催されました。

この高齢者大学は昭和50年に設立され、毎年、およそ800人の受講者が学んでいます。

講座以外にも10種のクラブが開設され、年に10回程度の活動を行っています。

この発表会や作品展は、それぞれのクラブ活動が1年間活動してきた成果を発表する場として開催しているもので、今回で16回目となります。

発表会は4日の民謡をはじめとして、5日に体育、16日にカラオケ、18日に



力作が一堂に  
(広見公民館ゆとりピア)

はコーラスの発表が行われました。また、作品展は6日から13日まで行われ、文芸(俳句)、毛筆習字、ペン習字、水墨画、盆栽・庭木、折り紙の6クラブの力作380点が展示され、来場者は足を止め、作品に見入っていました。



自慢の歌声を披露した民謡クラブ  
(文化創造センター)



体操クラブのリズム体操  
(広見公民館ゆとりピア)

2/7~8

可児市小中美術展・支援学級作品展

# 多彩な作品が一堂に

2月7日、8日の2日間にわたり、文化創造センターで、「可児市小中美術展」が開催されました。

市内にある16の市立小中学校に通う児童生徒が、授業や部活動で制作したデザインや版画、書写などの美術作品1190点が一堂に展示されました。

会場には、陶器で作った花瓶、紙コップや空き容器などの身近な素材を使って作られた動物やロボットなどの個性的な作品が展示され、本人や友達、作品を見に訪れた親子連れなど、たくさんの方々がにぎわいました。

同時に開催された、支援学級で学ぶ



子どもたちの力作いっぱいの会場内

子どもたちの作品展では、卵の殻を使った貼り絵や牛乳パックを使った工作などが展示されました。

来場者には子どもたち手作りの「しおり」が配られました。ほかにも会場では、各学校の体験学習を紹介するパネル展示も行われました。



虫をモチーフにした  
支援学級で学ぶ子どもたちの作品



体験学習の様子を展示

2/15

第27回可児シティマラソン

# 早春の花フェスタを駆け抜ける

2月15日、花フェスタ記念公園で毎年恒例の可児シティマラソンが行われました。

27回目を迎えた今回は、市内だけでなく、全国各地から1700人を超える申し込みがありました。

参加者たちは、距離や年齢によって分けられた部門ごとにタイムを競いました。また、団体や家族で楽しみながら走るジョギングの部もあり、梅の花が咲く園内を走りました。

レース後には、汁粉のサービスや、お楽しみ抽選会などが行われました。会場は白熱したレースの余韻そのままの盛り上がりを見せました。



一斉にスタートする選手たち  
(タイムレースの部)



家族で走る参加者たち  
(ジョギングの部)

部 門	氏 名	居住地区
10km	1部 高校・一般40歳未満男子	長谷川真一 三重県
	2部 一般40~50歳未満男子	柴田 法昭 御嵩町
	3部 一般50歳以上男子	水谷 秀二 三重県
5km	4部 高校・一般女子	田村あすみ 岐阜市
	5部 高校・一般40歳未満男子	河合 代二 関 市
	6部 一般40~50歳未満男子	隅 誠一郎 愛知県
	7部 一般50歳以上男子	萩原 昌弘 愛知県
3.2km	8部 高校・一般女子	平岡 知佳 可児市
	9部 中学男子	西尾 文吾 中津川市
	10部 中学女子	高橋 季香 愛知県
	11部 ジョギング(年齢制限なし)のため、着順なし	

各部門の優勝者は次の皆さんです(敬称略)。

3

1/26~30

学校給食週間

# ふるさとの味、おいしいね

可児市学校給食センターでは、学校給食週間として、1月26日~30日に、日替わりで「かみかみの日」や「外国料理の日」などテーマを決め、普段と異なる献立作りを行いました。

27日は「郷土可児の日」として、市内で作られたみそや野菜を使ったみそ汁や煮物、可児地方の郷土料理「サヨリめし」にちなんだ「サヨリ(サンマ)の甘だれ」などが出されました。

児童たちは、「とてもおいしい。」と喜んで、この日訪問した山田隆治副市長たちと、楽しく給食を食べていました。



給食おいしいね(広見小学校)

2/14

環境フェスタイベント

# みんなで可児川をきれいに

5



みんなで可児川をきれいに

2月14日に可児川一斉清掃が行われました。この行事は、「第9回可児市環境フェスタ」のイベントとして、同フェスタの実行委員会が企画したものです。

1500人を超える参加者は、市内5カ所の集合同所に集まり、清掃活動を行いました。

拾ったごみは、10種類に分別して集計されました。アルミ缶1784本、ペットボトル1385本など、とても多くのごみが集められました。